

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2016年 第23週 （6月6日～6月12日）

## ★お知らせ

### ○伝染性紅斑（リンゴ病）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第22週の0.17から第23週では0.57と急増しています。高知市、中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。

伝染性紅斑は、ヒトパルボウイルスB19が原因で、幼児期から学童期に多い感染症です。別称「りんご病」と呼ばれ、頬がリンゴのように赤くなります。10日から20日の潜伏期間があり、その後、両頬に鮮明な紅い発疹が現れ、体や手足に網目状の発疹が広がります。通常1週間程度でそれらは消失します。多くの場合、頬に発疹が出現する7～10日前に、微熱や風邪のような症状がみられ、この時期にウイルスの排出が最も多くなります。発疹が現れる時期にはウイルスの排出量は低下し、感染力もほぼ消失します。

妊娠中（特に妊娠初期）に感染した場合、まれに胎児の異常（胎児水腫）や流産が生じることがあるので注意が必要です。伝染性紅斑は、飛沫感染や接触感染します。特別な治療法はなく、予防は手洗い、咳エチケットです。

### ○百日咳に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第22週の0.07から第23週では0.03と急減していますが、中央東では3週連続注意報値を超えています。

百日咳は、一年を通じて発生が見られますが、春から夏、秋にかけての発生が比較的多い感染症です。

周囲の人に感染しやすく、患者の家族に、百日咳に免疫がない人がいた場合、高い確率で感染します。

乳児期早期から罹患し、1歳以下の乳児、ことに生後6ヶ月未満の乳児では、無呼吸発作等、重篤になることがあります。予防対策はうがい、手洗い、咳エチケットです。

感染予防のためにワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

### ○夏型感染症（咽頭結膜熱（プール熱）・手足口病・ヘルパンギーナ）に気を付けて！

咽頭結膜熱の定点医療機関当たりの報告数は第22週の0.43から第23週は0.20と急減しています。

咽頭結膜熱はアデノウイルスによる感染症で、発熱・咽頭炎・結膜炎が主な症状です。症状は3～5日間程度持続し、潜伏期は5～7日です。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるので、「プール熱」と呼ばれることもあります。通常、6月頃から徐々に流行しはじめ、7～8月にピークとなります。定点医療機関からのホット情報では、アデノウイルス感染症が12例報告されています。

手足口病の定点医療機関当たりの報告数は第22週の0.57から第23週は0.37と減少し、ヘルパンギーナの定点医療機関当たりの報告数は第22週が0.37、第23週も0.37と横ばいです。

夏型感染症の報告は減少していますが、今後も引き続き注意が必要です。

これら夏型感染症の予防対策は手洗い、うがいです。流水と石けんで手をよく洗いましょう。

咽頭結膜熱ではこれらの予防対策に加えて、プールから上がった後、シャワーを浴び、他人とのタオルの共用も避けるようにしましょう。

### ○流行性耳下腺炎（おたふく風邪）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第22週の0.93から第23週では1.03とほぼ横ばいです。幡多、高知市で増加しています。

流行性耳下腺炎はムンプスウイルスによる感染症で3～6歳の小児に多い感染症です。潜伏期間は2から3週間程度で、突然の発熱、両側、片側の耳の下の腫れと痛みが起こります。通常1～2週間で軽快しますが、まれに無菌性髄膜炎、難聴、精巣炎等の合併症を起こすことがあります。

また、感染しても症状が現れない不顕性感染が30%程度あるとされています。感染経路は、患者の咳やくしゃみ、しぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる飛沫感染、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染があります。予防対策には、手洗い、うがいを励行しましょう。

また、任意による予防接種がありますので、かかりつけ医療機関にお尋ねください。

## ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第22週の3.47から第23週では3.23とほぼ横ばいです。安芸、高知市、幡多で増加しています。

感染性胃腸炎とは、食品や水を介して各種のウイルスや細菌に感染し、発熱、下痢、腹痛、悪心、嘔吐などの胃腸炎の症状を来す病気です。人やペットから接触感染することもあります。

主な原因の1つとしてノロウイルスが挙げられます。ノロウイルスは100個以下という少量で感染が起こり、体内に取り込まれてから24時間～48時間（潜伏期間）で下痢、吐き気、嘔吐、腹痛、発熱等が発症します。通常、3日以内に回復しますが、ノロウイルスは感染してから1週間程度長いときには1ヶ月程度ふん便中に排出され続けます。ノロウイルスは、85度で1分以上の加熱、もしくは次亜塩素酸ナトリウム（家庭用の同成分を含む塩素系漂白剤でも代用できます。）による消毒が有効です。嘔吐物や下痢便の処理は衛生的に取り扱い、汚れた場所や衣類等は熱湯や塩素系消毒剤で消毒しましょう。

ウイルス性腸炎のみならず、カンピロバクター、病原性大腸菌、サルモネラなどの細菌性腸炎にも注意が必要です。これらは主に食中毒として発生します。調理前後や食事には「手洗い」を励行し、食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防の3原則（食中毒菌を付けない、増やさない、やっつける）を心がけて下さい。

定点医療機関からのホット情報では、ロタウイルス1例、ノロウイルス3例、カンピロバクター2例、サルモネラ腸炎1例、病原性大腸菌4例、下痢性大腸菌0153が1例報告されています。

## ○マイコプラズマ肺炎に気を付けて！

第23週は基幹定点からの4例に加えて、定点医療機関からのホット情報で11例、感染症情報収集システムでは13例の報告がありました。今後も引き続き注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は、肺炎マイコプラズマによって起こる呼吸器感染症です。幼児期から学童期によく見られます。感染経路は主に飛沫感染や接触感染といわれています。保育施設や幼稚園、学校、あるいは家庭内などの濃厚な接触で感染します。予防対策はうがい、手洗い、咳エチケットです。

### ☆マダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS）に注意！

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）はマダニが媒介する感染症です。

すべてのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、ダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。

#### 農林業やレジャー等で屋外で活動する際は、

- ・長袖・長ズボン・手袋・靴下等を着用し、裾や袖口は靴下・手袋の中に入れるなど、皮膚の露出を少なくする事が重要です。
- ・忌避剤（防虫スプレー）の使用も効果的です。
- ・帰宅後はダニを家の中に持ち込まないようにするとともに、入浴してダニが付いてないか（咬まれていないか）確認しましょう。※咬まれても痛みや痒みはあまりなく、気づかない事もあります。

#### もしマダニに咬まれたら、

- ・無理に引き抜こうとするとマダニの体液を逆流させてしまったり、マダニの一部が皮膚内に残ってしまい化膿することがありますので、医療機関で適切な処置（マダニの除去や消毒）を受けてください。
- ・野山に出かけた後（数日から2週間程度）に、発熱等の症状が出た場合は速やかに医療機関を受診してください。
- ・受診時に野山に入った事（ダニに咬まれた事）を申し出てください。

#### ●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

#### ●高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

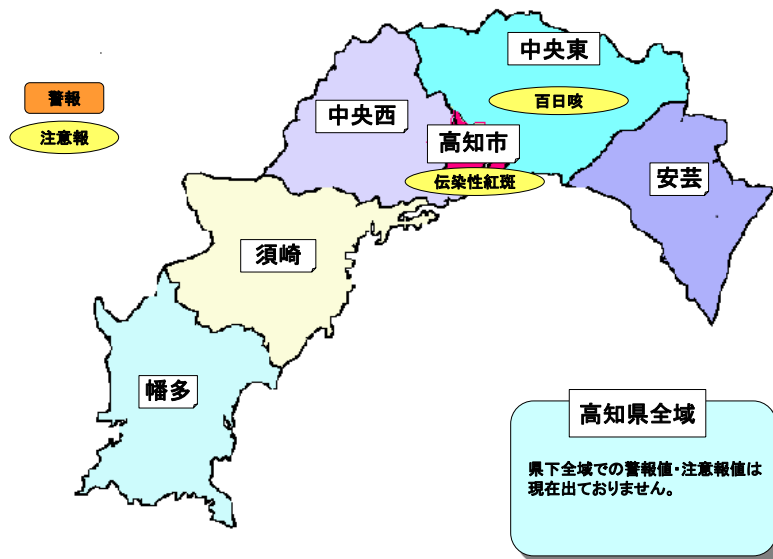
★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患）  
 23週（6月6日～6月12日）

↑：急増   
 ↗：増加   
 →：横ばい   
 ↘：減少   
 ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	<span style="color:yellow">→</span>	3.23	安芸、高知市、幡多で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color:yellow">→</span>	1.83	中央西、中央東で増加しています。
流行性耳下腺炎	<span style="color:yellow">→</span>	1.03	幡多、高知市で増加しています。
伝染性紅斑	<span style="color:red">↑</span>	0.57	高知市、中央東で増加し、高知市では注意報値を超えています。
手足口病	<span style="color:blue">↘</span>	0.37	中央東で増加しています。
ヘルパンギーナ	<span style="color:yellow">→</span>	0.37	高知市で増加しています。

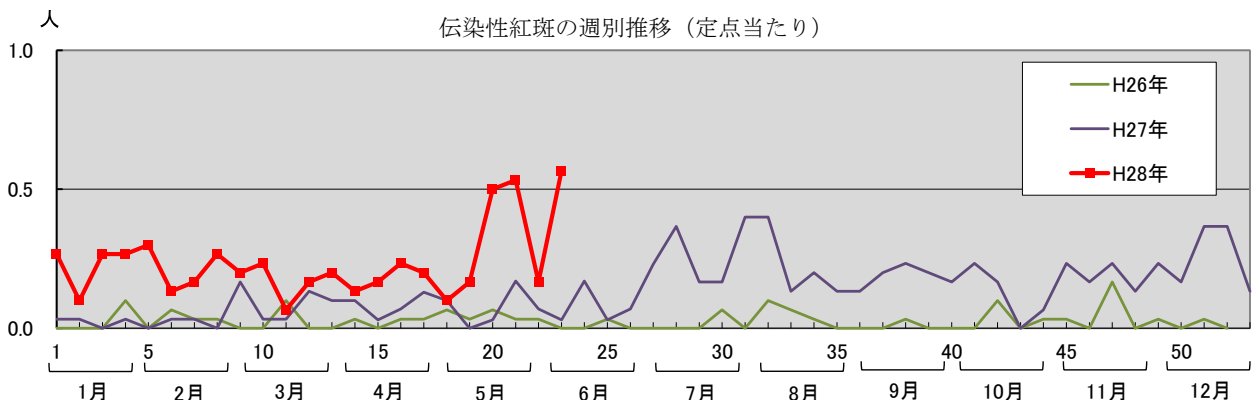
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

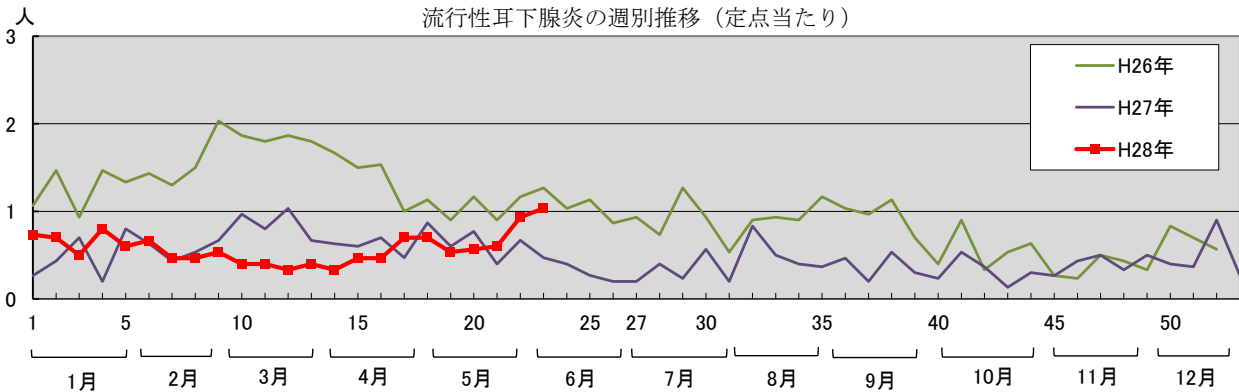
○伝染性紅斑 第23週： 0.57 （注意報値：1.00 警報値：2.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.57（前週：0.17）と急増しています。高知市1.09（前週：0.18）、中央東0.71（前週：0.29）で増加し、高知市では注意報値を超えています。



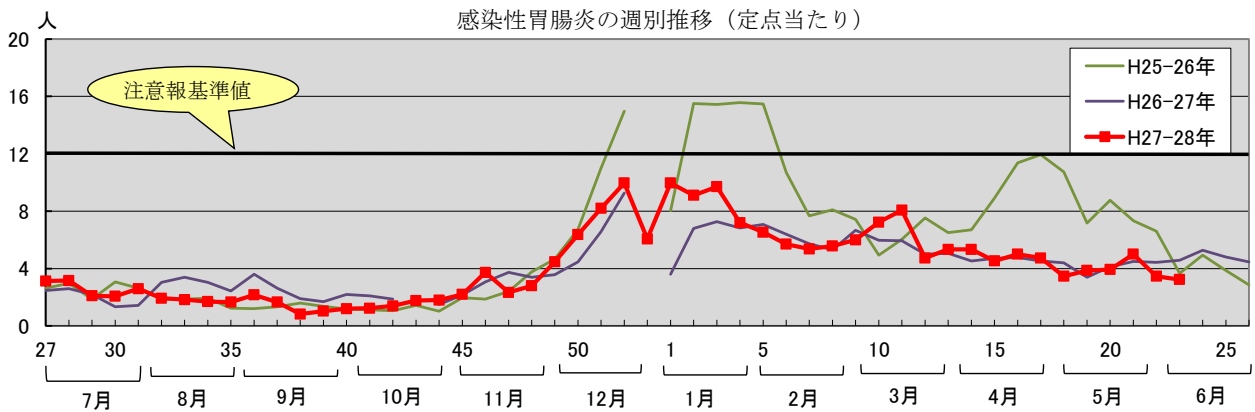
○流行性耳下腺炎 第23週： 1.03 (注意報値：3.00 警報値：6.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.03(前週：0.93)とほぼ横ばいです。地域別にみると、幡多2.00(前週：1.40)、高知市1.18(前週：0.64)で増加しています。



○感染性胃腸炎 第23週： 3.23 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり3.23(前週：3.47)とほぼ横ばいです。安芸5.50(前週：2.50)、高知市3.73(前週：3.27)、幡多2.20(前週：2.00)で増加しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、今週よりグラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H25-H26年とH26-H27年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
23	肺炎	5	女	中央東	Human metapneumovirus
23	-	6ヶ月	男	中央東	Parainfluenza virus 3
23	百日咳 疑い	6	男	幡多	Mycoplasma pneumoniae

★全数把握感染症

第23週

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	52	50歳代女	高知市
		1	53	90歳代男	中央東
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	50歳代女	中央東

## ★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	あけぼのクリニック	アデノウイルス咽頭炎1例（10ヶ月）
		百日咳1例（14歳 PT-IgG107EU/ml）
		マイコプラズマ肺炎1例（12歳）
	高知大学医学部附属病院小児科	マイコプラズマ肺炎1例（5歳女）
	早明浦病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症陽性1例（2歳女）
		下痢性大腸菌0153検出1例（4歳男）
		サルモネラ腸炎1例（9歳男）
カンピロバクター腸炎1例（5歳女）		
野市中央病院小児科	帯状疱疹1例（6歳女）	
	ロタウイルス胃腸炎1例（1歳女）	
高知市	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎7例 （0歳男4人、1歳男女、3歳女）
		マイコプラズマ肺炎6例 （3歳男2人、4歳女2人、13歳女、17歳女）
	細木病院小児科	ノロウイルス3例（8ヶ月女、1歳女、2歳男）
		カンピロバクター1例（9歳男）
	三愛病院小児科	マイコプラズマ気管支炎1例（11歳男）
		アデノウイルス感染症2例（2歳男女）
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症6例
		伝染性紅斑2例（6歳男女）
		流行性耳下腺炎2例
	高知医療センター小児科	病原性大腸菌4例（0ヶ月女2人、0ヶ月男、4ヶ月男）
中央西	石黒小児科	ヘルペス性歯肉口内炎1例（3歳女）
		帯状疱疹1例（49歳女）
		流行性耳下腺炎1例（8歳男：おたふくワクチン1回接種済み）
日高クリニック	マイコプラズマ肺炎1例（12歳女）	
幡多	幡多けんみん病院小児科	ヒトメタニューモウイルス感染症陽性1例（2歳男）
	さたけ小児科	アデノウイルス2例（2歳男、3歳男）
		マイコプラズマ肺炎2例（9歳男、14歳男）

### ■ジカウイルス感染症の定義と発生届について

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の施行令が一部改正され、平成28年2月15日からジカウイルス感染症が全数報告の対象となる四類感染症となりました。診断した医師は直ちに最寄りの保健所又は福祉保健所に届け出ることをお願いします。

●国立感染症研究所 ジカウイルス感染症のリスクアセスメント 2016年5月13日更新

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

●厚生労働省検疫所 海外感染症情報

<http://www.forth.go.jp/index.html>

●外務省 海外安全ホームページ

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●国立国際医療研究センター ジカ熱/ジカウイルス感染症 2016年5月11日更新

<http://www.dcc-ncgm.info/topic/topic-ジカウイルス感染症/>

●ジカウイルス感染症 定義（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-04-44.html>

●ジカウイルス感染症 発生届様式（PDF）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/pdf/01-04-44b.pdf>

●ジカウイルス感染症について（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000109881.html>

●政府広報オンライン 何が危ない？どう防ぐ？ジカウイルス感染症（ジカ熱）予防のポイント

<http://www.gov-online.go.jp/useful/article/201605/2.html>

★全国情報

第21号 (5月23日～5月29日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核439例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症36例

4類感染症：E型肝炎4例、A型肝炎7例、オウム病1例、回帰熱1例、重症熱性血小板減少症候群3例、  
つつが虫病5例、デング熱4例、日本紅斑熱3例、ライム病1例、レジオネラ症33例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症16例、  
急性脳炎5例、クリプトスポリジウム症1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、  
後天性免疫不全症候群15例、侵襲性インフルエンザ菌感染症5例、  
侵襲性肺炎球菌感染症46例、水痘（入院例に限る）6例、梅毒55例、  
播種性クリプトコックス症1例、破傷風1例、風しん7例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、E型肝炎3例、エキノコックス症1例、つつが虫病2例、日本紅斑熱6例、  
レジオネラ症3例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症17例、急性脳炎4例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、  
水痘（入院例に限る）5例、梅毒23例、播種性クリプトコックス症1例、  
バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん1例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第23週 平成28年6月6日(月)～平成28年6月12日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第23週							計	前週	全国(22週)	高知県(23週末累計) H28/1/4～H28/6/12	全国(22週末累計) H28/1/4～H28/6/5
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ													
小児科	咽頭結膜熱			1	2				3	6(0.20)	13(0.43)	2,367(0.75)	93(3.10)	27,410(8.68)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			17	21	10			7	55(1.83)	60(2.00)	9,212(2.92)	1,546(51.53)	186,318(59.02)
	感染性胃腸炎	11	30	41	4				11	97(3.23)	104(3.47)	18,782(5.95)	3,992(133.07)	442,960(140.31)
	水痘				2				2	2(0.07)	8(0.27)	1,345(0.43)	155(5.17)	28,454(9.01)
	手足口病		5	5				1	11(0.37)	17(0.57)	592(0.19)	51(1.70)	3,868(1.23)	
	伝染性紅斑		5	12					17(0.57)	5(0.17)	1,111(0.35)	162(5.40)	32,833(10.40)	
	突発性発疹		3	5					8(0.27)	21(0.70)	1,985(0.63)	212(7.07)	31,007(9.82)	
	百日咳		1						1(0.03)	2(0.07)	82(0.03)	41(1.37)	1,031(0.33)	
	ヘルパンギーナ		3	6	1			1	11(0.37)	11(0.37)	1,325(0.42)	49(1.63)	4,341(1.38)	
	流行性耳下腺炎				13	8		10	31(1.03)	28(0.93)	3,489(1.11)	400(13.33)	58,993(18.69)	
RSウイルス感染症							1	1(0.03)		268(0.08)	576(19.20)	22,941(7.27)		
眼科	急性出血性結膜炎										7(0.01)		189(0.27)	
	流行性角結膜炎										457(0.66)	11(3.67)	9,603(13.92)	
基幹	細菌性髄膜炎										1(0.13)	12(0.03)	2(0.25)	189(0.40)
	無菌性髄膜炎			1					1(0.13)	2(0.25)	24(0.05)	9(1.13)	437(0.92)	
	マイコプラズマ肺炎			3			1	4(0.50)	4(0.50)	259(0.55)	113(14.13)	5,299(11.18)		
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			1				1(0.13)		4(0.01)	25(3.13)	170(0.36)		
	感染性胃腸炎										97(0.21)	229(28.63)	4,698(9.91)	
計 (小児科定点当たり人数)		11 (5.50)	65 (9.28)	112 (9.72)	23 (7.66)		35 (6.80)	246 (8.00)			42,280	22,592 (553.53)	2,441,727	
前週 (小児科定点当たり人数)		5 (2.50)	83 (11.73)	109 (9.32)	37 (12.34)		43 (8.60)		277 (9.00)					

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第23週							計	前週	全国(22週)	高知県(23週末累計) H28/1/4～H28/6/12	全国(22週末累計) H28/1/4～H28/6/5
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ	インフルエンザ										0.02	0.17	310.96	319.46
小児科	咽頭結膜熱			0.14	0.18				0.60	0.20	0.43	0.75	3.10	8.68
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			2.43	1.91	3.33			1.40	1.83	2.00	2.92	51.53	59.02
	感染性胃腸炎	5.50	4.29	3.73	1.33				2.20	3.23	3.47	5.95	133.07	140.31
	水痘				0.18					0.07	0.27	0.43	5.17	9.01
	手足口病		0.71	0.45					0.20	0.37	0.57	0.19	1.70	1.23
	伝染性紅斑		0.71	1.09						0.57	0.17	0.35	5.40	10.40
	突発性発疹		0.43	0.45						0.27	0.70	0.63	7.07	9.82
	百日咳		0.14							0.03	0.07	0.03	1.37	0.33
	ヘルパンギーナ		0.43	0.55	0.33				0.20	0.37	0.37	0.42	1.63	1.38
	流行性耳下腺炎				1.18	2.67			2.00	1.03	0.93	1.11	13.33	18.69
RSウイルス感染症								0.20	0.03		0.08	19.20	7.27	
眼科	急性出血性結膜炎											0.01		0.27
	流行性角結膜炎											0.66	3.67	13.92
基幹	細菌性髄膜炎										0.13	0.03	0.25	0.40
	無菌性髄膜炎				0.20					0.13	0.25	0.05	1.13	0.92
	マイコプラズマ肺炎				0.60			1.00	0.50	0.50	0.55	14.13	11.18	
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				0.20					0.13		0.01	3.13	0.36
	感染性胃腸炎											0.21	28.63	9.91
計 (小児科定点当たり人数)		5.50	9.28	9.72	7.66		6.80	8.00				553.53		
前週 (小児科定点当たり人数)		2.50	11.73	9.32	12.34		8.60		9.00					

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎2階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869